

私たちは空気に囲まれて、空気を吸って、空気の力をつねに受けて生きています。聞こえてくる音も空気を伝わってきます。こんなに身近にあるのに、空気自体は見えないので、普段意識することはあまりないのではないのでしょうか。ただ、最近では新型コロナウイルスに関連して、室内の換気という点で空気の流れが注目されたようには感じます(物理的にも気持ち的にも、以前と同じ空気を早く吸いたいです)。

さて、当然ですが鉄道に関しても空気の影響があり、無視するというわけにはいきません。そのため、空気の流れを理解す

る「空気力学」とよばれる分野がとても重要です。今月号の特集では、鉄道総研が取り組んでいる空気力学に関するさまざまな内容を紹介しました。鉄道に関する内容に限られますが、空気についてのイメージをつかんでいただければ幸いです。

来月号の特集は「鉄道のヒューマンサイエンス」をお届けします。鉄道総研では、鉄道システムに関わる人の視点に基づいたヒューマンファクターの研究に取り組んでいます。その中から、ヒューマンエラー防止法や教育訓練法、お客様の利用環境改善などについて取り組みを紹介します。どうぞご期待ください。(T.S.)

■2020年7月号の訂正とお詫び

RRR誌2020年7月号に掲載した記事のタイトルに誤りがございました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所	誤	正
p.44～47掲載記事のタイトル	個別シミュレーター群の構築	個別シミュレーター群の連携